

6年産

「アスパラガス（露地）」栽培基準

品 種 名	ウエルカム、スーパーウエルカム、パールウエルカム ガインリム、ゼンユウガリバー、アティカス
目 標 粗 原 反 収	140kg
目 標 製 品 反 収	120kg
播 種 時 期	(定植年)3月下旬～4月上旬
定 植 時 期	(定植年)5月下旬～6月上旬
収 穫 時 期	5月上旬～6月中旬

基本作業	7月	8月	9月	10月	11月	2月	3月	4月	5月	6月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
	施肥	倒伏防止措置									施肥	収穫
除草剤	防 除								茎葉処理 堆肥施用	除草剤		

【 施肥基準 】

肥料名	施用量	要素量(kg/10a)		
		N	P	K
収穫後 アスパラ化成552E(有機質)	110kg	16.5	16.5	13.2
収穫前 硫安	15kg	3.15		
合 計	125kg	19.65	16.5	13.2

肥料名	施用量	要素量(kg/10a)		
		N	P	K
収穫後 アスパラ化成552E(有機質)	110kg	16.5	16.5	13.2
収穫後 発酵ケイソウペレット2号(有機質)	60kg	1.8	1.8	1.8
収穫前 硫安	15kg	3.15		
合 計	185kg	21.45	18.3	15.0

【 農薬使用基準 】

項目	適用病虫害名	農薬名	使用濃度(倍)	10a当り薬量(水100ℓ)	適正使用基準		RACコード
					使用時期	回数	
殺虫剤	アブラムシ類・ヨウムシ・カメシ類 ジウシホシヒナガハムシ	アディオソ乳剤	2,000	50ml	前日	3	I:3A
	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5,000	20g	前日	2	I:5
	アオムシ・コナガ・ヨウムシ・ハスモンヨウ	フローバックDF	1,000	100g	前日(発生初期)	-	I:11A
	ネギアザミウマ・ハスモンヨウ・ヨウムシ	プレオフロアブル	1,000	100ml	前日	2	I:UN
	アザミウマ類・カメシ類	モスピランSL液剤	4,000	25ml	前日	2	I:4A
殺菌剤	斑点病・茎枯病	アフェットフロアブル	2,000	50ml	前日	4	F:7
		ダコニールエース	1,500	66ml	前日	4	F:M5
		フロンサイドSC(露地限定)	2,000	50ml	収穫後但し秋期まで	5	F:29
		Zボルドー	500	200g	-	-	F:M1

※アディオソ乳剤、ガードベイトAは成分としてペルメトリンを含む。ペルメトリンを含む農薬の総使用回数は3回以内。

【 ローテーション防除と作業体系 】

散布時期	回数	薬剤名および作業
7月上旬		収穫後施肥(アスパラ化成552E)
7月中旬	1	フロンサイドSC
8月上旬	2	ダコニールエース
8月下旬	3	アフェットフロアブル
9月上旬	4	ダコニールエース
9月中旬	5	フロンサイドSC
10月上旬	6	アフェットフロアブル
収穫年	4月上旬	堆肥施用
	4月下旬	収穫前施肥(硫安)
	5月上旬	収穫開始
	6月中旬	収穫打ち切り

項目	適用雑草	農薬名	10a当り薬量	使用時期	回数	RAC
除草剤	一年生雑草	センコル水和剤	150g	萌芽前又は収穫打切後	1	H:5
		ザクサ液剤	500ml	萌芽前又は畦間処理(収穫前日まで)	2	H:10
	一年生イネ科雑草(スズメカサビラを除く)	ナブ乳剤	200ml	イネ科雑草3～5葉期(収穫前日まで)	1	H:1

【 土づくり・防除技術 】

1. 完熟堆肥(牛ふん・麦稈堆肥で3t/10aまで)の施用を基本とする。
2. 土壌診断を実施し、pH6～6.5を目標に土壌改良を行い、適正施肥を行なう。
3. 斑点病については、6回のローテーション防除(10～14日間隔)を基本とし、降雨が多い場合は防除間隔を狭める。